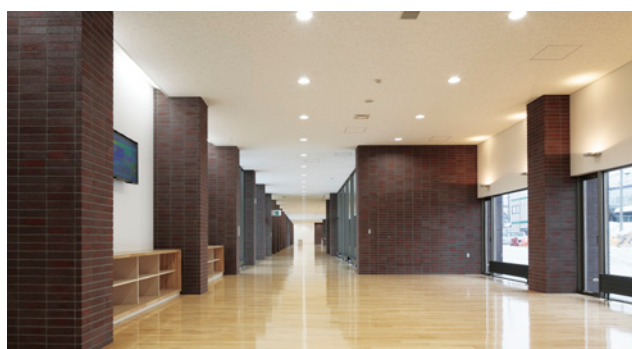


北海道小樽高等支援学校



ギャラリー



校舎北東側外観

建築主	北海道建設部建築局建築整備課
所在地	北海道小樽市銭函 1-10-1
敷地面積	54,915.92m ²
建築面積	8,157.44m ²
延べ面積	12,739.50m ²
構造	鉄筋コンクリート造、 鉄骨鉄筋コンクリート造および鉄骨造
階数	地上3階
最高部高さ	GL+12.85m
駐車台数	140台
工期	2010年2月～2011年2月

知的障害を持つ生徒が通う道立高等支援学校の新設のための、校舎（一部既存改修）、寄宿舎、体育館、プールの新築計画である。

計画地は、北側に石狩湾を望み、南側には小樽の山並みが広がる自然環境が豊かな場所にある。敷地の高低差と周辺環境を活かすため、山から海に抜ける自然軸に沿って建物をくし型に分棟配置して視線の抜けをつくっている。各棟の間には中庭を設け、建物のどこにいても緑豊かな環境を感じられるようにし、棟を結ぶ渡り廊下からは海の景色が一望できる、周囲の自然との一体感のある空間構成とした。

住宅地側には地域に開かれた前庭とギャラリー空間、海側には教室群と生徒が集う多目的室を配置し、本高等支援学校に求められる、地域社会との積極的な関わりと落ち着いた学習環境を両立させるプランニングとした。